

環境学習みえ

2012年3月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行

表紙の人／右：広塚 耕三さん（上野森林公園 所長） 左：坂上 優子さん（上野森林公園 職員） 中：小松 則安さん（モリメイト） 2012 No.48

春

里山の公園管理

（三重県上野森林公園）

こどもエコクラブ
センターニュース
・今月の企画展示
・講座のご案内ほか



里山の公園管理

～三重県上野森林公園～

伊賀市にある上野森林公園は市街地からも近く、誰もが気軽に訪れることができる自然豊かな場所です。三重県環境学習情報センターでは、野鳥観察会などの自然に関する講座をこの森林公園をフィールドにして開催しています。

今回は「身近な自然」と親しむことができる「上野森林公園」をご紹介します。



「サギソウ園」

8月～9月に約3,000輪のサギソウが華麗な白い花を咲かせます。

三重県上野森林公園

〒518-0817 伊賀市下友生字松ヶ谷1番地
tel:0595-22-2150 開館時間:9:00～17:00
休館日:12月29日～1月3日



展望台「風のとりで」は園内を眺望できます。



ビジターコテージ「森のまなびや」。森林公園の利用案内、行事イベントなどの情報提供を行っています。



全長約8キロの散策路があり、森林浴をしながら、気持ちよくウォーキングできます。

お話を伺った人



三重県上野森林公園 職員

おだ あさよ
左: 小田 麻代さん(樹木医)
たけしま まさひろ
中: 竹島 正浩さん
さかのうえ ゆうこ
右: 坂上 優子さん

そので今回は、職員の方に森林公園の魅力と自然環境を維持するための公園管理についてお話を聞きました。

上野森林公園は上野新都市「ゆめぼりす伊賀」の保全緑地であるとともに、県民にとって自然と触れ合う憩いの場として平成11年に整備されました。約52ヘクタールの広大な敷地は、「活動と健康の森」と「観察の森」にわかれていきます。

上野森林公園の大きな魅力は湿地を含めた里山の恵まれた自然環境です。213種の樹木と235種の草花が確認されており、自然観察も十分に楽しめます。





▲サギソウ（ラン科）
シラサギが翼を広げたように見えることから、名前がつけました。



ウメバチソウ



サワギキョウ

▲森林公園で見られる湿生植物たち



▲ハッチョウトンボのための滞水域

また森林公園では、日本で最も小さいトンボのひとつといわれるハッチョウトンボの生息が確認されています。湿地を生息地とするため、散策路の端に滞水域（水溜り）をつくってトンボを保護しています。そして生息地には保護啓発看板が立てられていて、ハッチョウトンボをみんなで守り育てていこうという職員の想いが伝わります。

森林公園はひとつの里山であり、多様な生物が生息する豊かな自然環境を保っているのです。



▲ハッチョウトンボ
雄の体長は約20ミリ、雌は約18ミリと大変小さいトンボです。雄は成熟すると体が真っ赤になります。

樹木医の視点から観る樹木

森林公園は来園者が安全に過ごせるよう枯れ木・倒木などの森林整備が施されていて、散策路を歩いても明るくて見通しのよい環境です。このようにして、快適さを感じてもらえるような景観づくりをしています。

さらに健全な森林を維持管理していくため、森林公園には自然に関する知識を持つ職員が常駐しています。樹木医の資格を持つ小田さんは樹木の診断・処置などを行っています。「健全な森林づくり」についてどのような視点で樹木を観察しているのでしょうか。

樹木医とは？

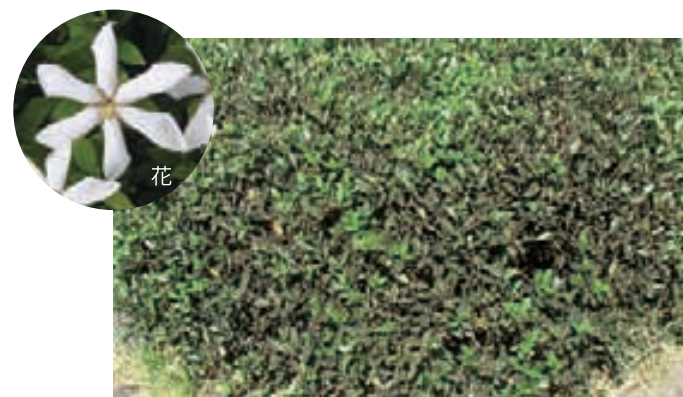
天然記念物の巨樹・古木から街路樹、庭木など、さまざまな樹木の診断と治療などを行う専門家です。

樹木医になるには、(財)日本緑化センターが実施する資格審査に合格しなければなりません。試験を受けるには、樹木の診断、治療の実務経験7年以上などの定められた条件があります。





▲冬芽のついていない枯れた枝は、元枝に沿って滑らかに伐り落とします。これは成長とともに表皮が切り口を覆いやすくするためです。



▲手入れするコクチナシ
すす病は葉などの表面がすすをかぶったように黒くなります。



豊かな里山の資源を活用した体験であり、子どもと大人が一緒になって自然と触れ合えるよい機会となりました。翌々秋にはシイタケが発生する予定です。参加者のみなさんはとても楽しみにしています。

ついでにお話を聞いたあと、電動ドリルで穴を開け、菌打ちをしました。

▼モリメイトのみなさん（右端が芝田さん）
長さ4メートル程のヒノキの丸木橋はモリメイトの手作りです。
モリメイトでは一緒に活動する方を募集しています！



小田さんはまず、樹木の健康状態を知るために「葉」を見るそうです。葉は日光を受け、光合成を行い、エネルギーをつくっています。葉の大きさ、色、量など、様々な点を観察します。周囲の環境が樹木の生育に影響を与える場合もあります。日当たりはよいか、枝や根を十分に伸ばす場所があるかなど周囲の環境を広く見ることも必要です。

また、健全な森林の管理には、適正な剪定の時期や仕方があります。樹木は夏から秋にかけて光合成をし、栄養分を蓄えて、冬の間はその養分を維持しています。そのため伐るの

であれば、成長が止まっている秋から冬が負担が少ないといわれています。樹木が健康な状態を維持することができるといいます。小田さん「健康な樹木に育てるためには、手入れを施した後も観察を続けていくことが大切です」その後、どう樹木が変化していくかを見ることで、毎年の健康状態を比較できるようにしていきます。

実際に小田さんは、カイガラムシが発生し、すす病の被害を受けたコクチナシの木の処置を行っています。継続した観察と地道な処置によって今年も花が咲くことを期待しています。

里山の資源を活かして

2月に開催された「シイタケの菌打ち体験」は上野森林公園で毎年、開催されている人気行事のひとつです。この行事を企画・実行しているのは、森林公園のボランティア団体「モリメイト」です。職員とともに、まだ手つかずの敷地の森林整備を行い、豊かな里山づくりを進めてきました。

この日、シイタケの原木として利用するのは、晩秋に除伐したコナラの木です。倒木や枝折れなどで危険な木を選んで伐っています。

参加者はシイタケの育て方などに



▲チップ道 除伐した木々をチップに粉碎して敷き詰めた散策路。ランニングする人には膝に負担がかからないと好評です。



▲ビートルズベッド
軽トラックの荷台13杯分の落ち葉を集めて、ほぼ満杯になりました。

そのほか、里山の資源は公園の環境づくりにも活かされています。観察の森の一角にあるコナラ林を「カブトムシの森」にしようという取組みもそのひとつです。12月、舞い散った落ち葉をかき集めて堆積させてくるのは、ビートルズベッドです。カブトムシが産卵するための腐葉土をつくっています。

モリメイトの芝田香象さんによると「自然のカブトムシを観察できれば、来園者に喜んでもらえるのでは」という想いから始めたそうです。落ち葉かきは大変な作業ですが、散策路もきれいに掃除されるので一石二鳥です。



▲上野森林公園に忍者参上！

モリメイトのみなさんは「森の中で本気で遊ぼう！」という趣旨通り、活発に活動されています。丸木橋の設置やマツタケ山の再生など、森の中に入るのがわくわくするような楽しいアイデアを次々と生み出しています。

4月からは公園内に忍者コースも設置される予定です。里山を活かしたおもしろい仕掛けが満載で、初級「古池コース」・中級「忍びの森コース」・上級「奥の細道コース」の3コースがあります。見事クリアした人には「忍者心得帳」が進呈されます。

広大な敷地の公園管理は、公園職員6名とボランティアのみなさんの協働によって、日常的に行われています。こうして豊かな里山の自然環境が維持されているからこそ、森林公園では四季を通じて様々な植物を楽しんだり、時には希少な生き物に出会うこともできるのです。

これから樹木の新緑がまぶしい季節を迎え、花の公園へと変化していきます。職員の坂上さんからは「ハルリンドウやコバノミツバツジ、ヤマザクラなどが咲きますよ」と春の森林公園の見どころを教えてくださいました。

この春、みなさんも上野森林公園へ出掛けてみてはいかがでしょうか。三重県環境学習情報センターでは、上野森林公園をフィールドとした環境講座を以下のように開催予定です。こちらにもご参加をお待ちしています！



写真提供 三重県上野森林公園

上野森林公園へ行こう！

講座のご案内

両講座参加費：無料

申込期間
4/13(金)～
5/4(金)
先着順
で受付

野鳥観察会～春編～

日時 5/13(日)
9:30～12:00

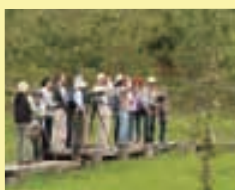
募集人数 15名

カワセミ、エナガ、イカル、ウグイスなど…上野森林公園を散策しながら野鳥を観察しよう！

※雨天の場合は室内でお話となります

お問合せ・申込み 三重県上野森林公園

Tel:0595-22-2150 E-mail:muenofp@e-net.or.jp
ホームページ:http://www.e-net.or.jp/user/muenofp/



スキルアップ講座 樹木医の視点で木を観てみよう

日時 6/2(土) 10:00～12:30

講師 樹木医 小田 麻代氏
(三重県上野森林公園 職員)

募集人数 15名

講義 木や森に関することや、木を樹木医の視点でみるための基礎的なお話

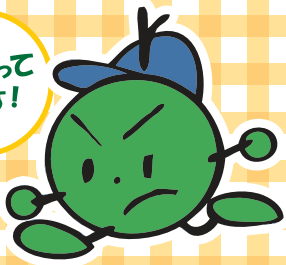
実習 木の観察をしたり、カルテを書いたりします

お問合せ・申込み 三重県環境学習情報センター

Tel:059-329-2000 E-mail:info@eco-mie.com
ホームページ:http://www.eco-mie.com

申込締切
5/15(火)





こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～

立神小エコクラブ (志摩市)

- ・会員数 9名
- ・サポーター数 1名
- ・クラブの構成 小学校
- ・代表サポーターの松尾先生に聞きました

1つ目は『生き物の観察』です。川や干潟の生き物、林の中の昆虫等の様子と個体数の調査をしました。川や干潟の生き物で、水に汚れがあっても生活できるものはたくさんいたが、きれいな所でないとき生きていけない生き物は減少していました。川も海も環境改善をして、きれいになりつつあり、生き物の個体数は増えています。しかし、まだ川や海の底にはヘドロ等が処理されず、きれいな水に住む生き物の餌や住む場所になる水苔や藻、海藻等が減っていることがわかりました。



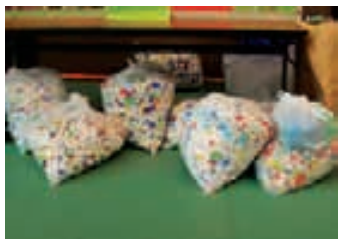
どのような活動を
していますか?



いつどのように
できたのですか?

平成20年、当時の4年生が1年間で『立神の自然と環境』について調べようと動き出しました。しかし、1年過ぎてみると、まだまだできることがあると卒業まで継続することになりました。その後も、興味のある子が引き継いで活動を続けています。

2つ目は『エコキャップ回収運動』です。環境の学習をしていて、“自分たちも何かしたい!”と色々考えました。そして、“キャップを集めて、ポリオワクチンを送る活動”があることを知り、取り組みました。同じ活動をやるイオンに活動の様子や方法を教えてもらいに行ったり、商店などに集めてもらおうという、お願いに行ったりしました。



写真②集めたペットボトルのキャップ



写真①川の生き物観察



どのようなことを
子どもに伝えたいですか?

今、里山や里海等の自然と関わる事が少なくなっています。クラブの活動で『人は人だけでは生きていけない』『自然環境に関わって生きている』『植物や動物等と共存共生が大切だ』と話し合いました。そのために自然や生き物、身の周りの環境について考え続けることを伝えたいと考えています。



写真③「ゴミ新聞」をつくりました

3つ目は『生活を知る事』です。買い物をするとき必要のない包装がありゴミになる事を考え、ゴミを減らすために『風呂敷の使い方』を学びました。また、アマモが魚の住みかや餌となることを知り、少しでも増やそうと干潟に植える事もしました。

こども エコクラブとは

- 入会費・登録費無料
- お問い合わせは
環境学習情報センターまで

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。仲間が集まればどんなグループでも「こどもエコクラブ」として登録して活動を始めることができます。



こどもエコクラブイメージキャラクター「エコまる」
<http://www.j-ecoclub.jp>



● 佳作作品については、こちらをご覧ください
http://www.eco-mie.com/kouzai/senju_sakuhin/index.html

※ 敬称略

かんきょう山柳 入賞者発表!

私たちのちよつとエコ

「かんきょう山柳」にたくさんのご応募をいただき、ありがとうございます。どの作品からでも、身近な生活から環境をよくしていこうとする意欲と行動力が感じられ、とても感銘を受けました。そのことから入賞作品の選考には大変苦慮しましたが、左の様に決定しました。

最優秀賞

小・中学生の部

はやねして
でんきのせつやく
いいきぶん

阪 旺太 (四日市市立泊山小学校4年)

最優秀賞

高校生・一般の部

ラブレター
チラシの裏で
練習中

新山 紗希 (三重県立飯野高等学校2年)

優秀賞

さいしよから
ごみになるもの
買わないよ

宮口 紗良 (三重大学教育学部附属小学校2年)

優秀賞

燃費よし
ボディもスリム
ママチャリで

小林 寛久 (桑名市)

入選

電気消し
夜空を見上げ
星探し

高橋 祐策 (津市立一身田中学校1年)

エアコンを
うちわに変えて
夏過ごす

山口 真秀 (尾鷲市立尾鷲小学校5年)

入選

節電と
叫ぶCM
音を下げ

遠藤 きよみ (鈴鹿市)

要らぬ物
買わぬ貴方に
エコマーク

守護 えみ菜 (三重県立飯野高等学校2年)

環境活動の
PRができる!

今月の企画展示



12月

四日市ウミガメ保存会

アカウミガメの産卵が7年ぶりに確認された、2010年7月四日市市楠町の吉崎海岸。大きく新聞に掲載されたことは、まだ記憶に新しいところです。

2011年は残念ながらアカウミガメの姿をみることはできませんでしたが、2009年から続けている海岸清掃は、毎月第1日曜の朝8時から雨の日でも続けられています。

今年の夏には、もう一度、子ガメちゃんたちに会えたらうれしいですね。

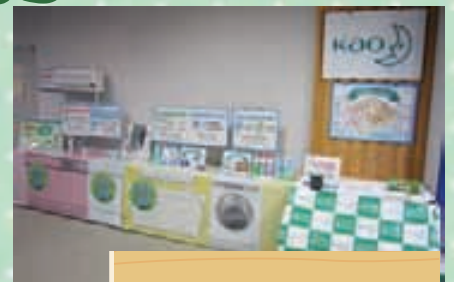


1月

川づくり会議みえ

三重県の自然豊かで子どもが遊べる「魅力ある川づくり」を実現するため、いろんな活動をされています。ひと昔前、幼少時代は川で遊び、みんなが川を身近に感じていました。それは、子どもたちを健康に育むための「自然の学校」だったのです。

もう一度、豊かな川に戻すため行政や市民団体と協同するとともに、参加できる機会や場を提供しています。



2月

花王株式会社

CMでおなじみの「いっしょにeco」は「おきゃくさまといっしょに」「パートナーといっしょに」「社会といっしょに」という意味があります。

花王の製品は、キッチンで、バスルームで、洗面所で...毎日私たちが使うものばかりです。だからこそ、環境にやさしいモノづくりを目指して、よりエコな活動をすすめています。

節水・節電をどのようにすればいいのかを教えてくださいのわかりやすい展示でした。



ようこそ!&訪問しました

12月

三重県環境学習情報センターでは社会見学・環境学習の受け入れを行っています。

環境学習情報センターに来館してくれた小・中学校

いなべ

丹生川小学校(2・3年)

菰野

八風中学校(1・2年)

松阪

天白小学校(6年)

伊賀

阿山中学校(1~3年)

志摩

布施田小学校(3年)、船越小学校(6年)、安乗小学校(2年)

津

安東小学校(6年)

環境学習情報センターが訪問した小・中学校

四日市

県小学校(4年)、保々小学校(4年)、水沢小学校(4~6年)
海蔵小学校(4年)

環境学習情報センターの講座情報

講座NEWS

講座内容は、都合により変更になる場合があります。

PICK UP 環境リーダーを養成する講座がお近くで開催できます。

学校の先生の場合

地域NPOの場合

自治体の場合

2～3時間の研修にご利用ください。

メンバーのレベルアップにご利用ください。

市町での環境活動を増やすきっかけ作りにご利用ください。

主催講座を出前講座としても実施できます。詳しくはお電話下さい。

イベント・講座名	開催日	開催場所	申込締切	内容
スキルアップ 「共存と絶滅」	4月21日(土) 5月12日(土) 9月15日(土) 12月1日(土) 2月2日(土)	4/21・5/12フレンデみえ 9/15・12/1 三重県文化会館 2/2 未定	チラシ参照 (お問い合わせ下さい)	4/21「チョウと植物」、5/12「トンボと植生」、 9/15「オーストラリアの動物」、12/1「恐竜と哺乳類」 2/2「恐竜の絶滅が教えること」
スキルアップ 「樹木匠の視点で木を観てみよう」	6月2日(土)	三重県上野森林公園	5月15日(火)	室内で樹木についてお話を聞いた後、野外で木を観察したり、 カルテを書いたりします(※2009年度とほぼ同じ内容です)
スキルアップ 「多度山の自然を歩く～植物を中心に～」	5月20日(日)	多度山(桑名市)	4月28日(土)	桑名市の多度山を歩きながら、植物を観察します。山頂付近で 解散します。(※雨天は室内でお話)
環境学習指導者養成 インタープリター養成講座	4月22日(日) 5月5日(土) 5月19日(土) 5月27日(日)	松阪市嬉野ふるさと会館 および周辺の野外	4月2日(月)	自然の価値やしぐみなどをわかりやすく伝える人(インタープリ ター)の養成講座です。(※4日間で1講座です)
環境学習指導者養成 環境基礎講座	6月9日・16日 23日・30日 7月7日・14日 (全て土曜日)	サン・ワーク津	5月20日(日)	環境をいろいろな視点から考え、幅広く環境問題等について 学びます。1コマ単位での参加も出来ます。
ヒノマイトンボに関する環境セミナー	5月11日(金) 9月14日(金)	三重県伊勢庁舎 本館4階402会議室	前日までに	宮川浄化センターにおけるヒノマイトンボ生息地の保全活 動と基礎的な生態学のお話です。(※18:00～)
ヒノマイトンボ観察会	6月23日(土)	宮川浄化センター	6月3日(日)	宮川浄化センターで、絶滅危惧種のヒノマイトンボについて お話をきいたあと、観察をします。
野鳥観察会～春編～	5月13日(日)	三重県上野森林公園	申込期間 4月13日(金) ～5月4日(金)	上野森林公園内を歩いて野鳥の観察をします。お申込みは上 野森林公園へ(期間内先着)
環境工房 紙すき体験と絵手紙	7月1日(日)	環境学習情報センター	6月13日(水)	紙パック(紙すき)で作ったはがきを使って絵手紙を書きます。 紙すき体験もします。
春のキッズエコフェア	4月28日(土) 29日(日)	環境学習情報センター	申込不要	自転車発電体験やエコカードの発行など、環境活動を行う団体 や企業のブースがセンター内に並びます。また、周辺施設でも イベントが開催され、ループバスが運行されます。

PICK UP

センターへの来館・出前講座などで使える **環境講座**

「金環日食を見るために」

対象

小学生・中学生・一般(人数:10名以上)

時間

30分以上



2012年5月21日には、三重県で282年ぶりに、「金環日食」が見られます。この大変珍しい日食について、メカニズムや安全な見方などについてご紹介します。また、安全に太陽を見るための日食グラスをつくる工作を組み合わせることもできます(材料費必要、ご希望にそえないこともありますので、詳しくはご相談ください)。

一般個人向けには、下記の講座をご用意しております。全講座で日食グラスを制作します。3月26日からFAX・メール・郵便で先着受付します。詳細は、専用チラシなどをご覧ください。

こども環境講座(対象:小・中学生)		大人・初心者向け講座(対象:高校生以上)	
4月14日(土)	三重県環境学習情報センター(四日市市)	4月15日(日)	横山ビジターセンター(志摩市)
4月15日(日)	横山ビジターセンター(志摩市)	4月21日(土)	伊勢市立小俣図書館(伊勢市)
4月21日(土)	伊勢市立小俣図書館(伊勢市)	5月6日(日)	三重県上野森林公園(伊賀市)
5月6日(日)	三重県上野森林公園(伊賀市)	5月12日(土)	三重県立熊野少年自然の家(熊野市)
5月12日(土)	三重県立熊野少年自然の家(熊野市)	大人・指導者向け講座(対象:高校生以上)	
5月13日(日)	みえ市民活動ボランティアセンター(津市)	4月14日(土)	三重県環境学習情報センター(四日市市)
5月19日(土)	三重県環境学習情報センター(四日市市)	5月13日(日)	みえ市民活動ボランティアセンター(津市)

三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	http://www.eco-mie.com
開館日	1月4日～12月28日まで (12月29日～1月3日まで休館)
開館時間	午前9時～午後5時30分
入館料	無料 ※お気軽にお越し下さい

